

団体名		公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団				
①	指標名	お客様満足度の向上			目標値	体育施設事業の参加者の平均満足度及びプレイスモニタリング総合満足度ともに87%以上
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	体育施設事業91.0% プレイス総合満足度95.3%	体育施設事業90.8% プレイス総合満足度86.8%	体育施設事業93.0% プレイス総合満足度92.9%	体育施設・プレイス共に高い満足度であるが、毎年この水準を維持していくことが重要である。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(2) 自律的経営促進		
	設定理由等	体育施設では、年間170を越える事業の実施後にアンケート調査を実施して、4,000人以上から回答をいただいております、事業評価の重要な指標としている。 一方、プレイスでは市民の「交流」の場として気軽に来館していただくには事業の満足度と共に、接客を含めた総合満足度が重要な指標となるため、モニタリング調査の総合満足度を指標としている。				
	取組内容	体育事業では、総合体育館だけでなく地域でも気軽に参加できるよう、コミュニティセンターやプレイス、小学校などを会場にしたスポーツ教室を開催したり、障害者でも参加できる教室を開催するなど、「Sports for All」のスローガンのもとに、スポーツ参加者の底辺拡大に向けて取り組んでいる。 また、プレイスでは4つの機能を併せ持つことで、「人とひととの出会い」を大切に仲間づくりを意識した事業を展開するとともに、来館者が快適に過ごせる空間(場)を提供していく。 利用者からの意見・質問・要望は、「利用者の声」として投函していただき、内容に対する回答を館内に掲示するとともに、実施可能なものについては施設管理、事業運営に取り入れている。				
②	指標名	自主財源の増収			目標値	参加料収入等44,000千円
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	39,333千円 (33,463千円)	43,076千円 (34,526千円)	44,534千円 (34,005千円)	3年間で参加料もしくは合計額で少しずつ増加しているが、大幅に増加させることは難しい。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(3) 人材育成と経営基盤強化		
	設定理由等	事業団の経営安定化のため、自主財源の増収を図る。 数値は事業参加料に基本財産運用収入と業務委託収入を加えたものである。 (カッコ内の数値は事業参加料のみ)				
	取組内容	- 参加者数の増加と適正な参加料設定で参加料の増収を図る。 - 基本財産の運用を適切に行い、運用利息収入を確保する。 - 体育施設では、2階のコミュニティラウンジなどに設置した自販機やケータリング等の売上げに応じた一部が事業団の収入になるので、利用率の向上を図る。 - プレイスではカフェ事業が好調なことから来館者数の増加に応じた手数料収入の増加を図る。				
③	指標名	コンプライアンスの強化			目標値	①人材育成計画の策定 ②職員行動指針の策定
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	リスク管理規程等の整備	中期計画の策定 嘱託職員規程整備	全職員対象の研修実施	中期計画を策定したことで、今後取り組むべき課題や目標が明確になり、コンプライアンスの強化にもつながっている。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(1) 経営責任の明確化		
	設定理由等	平成27年度を始期とする5年間の中期計画に沿って、職員の人材育成の課題となっている「職員人材育成計画」及び「職員行動指針」の策定を行う。				
	取組内容	職員参加による「職員人材計画策定チーム」及び「職員行動指針策定チーム」を設置し、アンケートや意見募集など職員全員参加で完成を目指す。				